

第38回開校記念式典

去る2日、新型コロナウイルス感染症への対応のため、放送による式典となりましたが、第38回開校記念式典を、同窓会長、PTA会長の御臨席を賜り、挙行することが出来ました。

同窓会長からは、「今日の世界は未曾有の脅威、危機に直面しています。皆さんは、自分自身で出来ること、つまり今は、何が出来るのではなく、何をするかを心に刻んでください。幾多の困難が待ち受けていますが、怖がらず、焦らず、半歩でも前に進む気持ちを忘れないでほしい。失敗してもよいではないか。若いうちは、その失敗が人生の糧になります。」とエールを送っていただきました。

PTA会長からは、「今年は、日頃私たちが当たり前と思って実施できていることは、いかに貴重なことであるかを思い知らされました。生活も大きく変化しましたが、最初はそれは無理だろうと思っていたことでも、やってみると意外と面白い発見があったり、楽しめたりしています。コロナ禍が、多くの当たり前を変えてしまったように、よく考えてみると不可能が可能になる方法があるかもしれません。これが当たり前、これが普通という固定観念を取り払い、どんどん新しい発想にチャレンジしていくチャンスです。ちょっと見方を変えてみると心に余裕が生まれることもあると思います。」と励ましの言葉をいただきました。

ところで、本校は、地域の方々からの大きな期待と温かい御理解の中、38年前の昭和57年11月1日にその産声を上げ、翌年の昭和58年4月、竣工したばかりの体育館に、真新しい制服に身を包んだ第1期生270名を迎え入れ、名実ともに開校いたしました。本校の草創期においては、当然、同窓会はまだ結成されていません。今、私たちは、当たり前のように同窓会から、さまざまな御支援を頂いていますが、私たちが今支えてくださっている方々は、自分たちが受けなかった恩恵を、後輩たちに与えてくださっているわけです。当時は、同窓会ではなく、地域の方々などによる支援をたくさん受けていたわけで、私たちは、受けた恩を、直接その相手にお返しするというだけでなく、違う相手に返しているということがあります。そして、未来へと繋がっていきます。

私たちが暮らす社会は、こうした繋がりがあること、温かみのあるものになるように思います。この場合の与えてもらったり、返したりというのは、必ずしもお金やモノのことではありません。私たちは、言葉や、愛情、正義、勇

気など、様々なものを与えてもらったり、受け取ったりしているわけです。同窓会長も祝辞の中で、1890年(明治23)9月に和歌山県沖で起きたオスマン・トルコ帝国の軍艦エルトゥールル号の遭難事故の際に日本人がとった救助行動と、その恩返しともいえる出来事、すなわち95年後の1985年(昭和60)3月、イラン・イラク戦争の最中、イランから脱出できずにいた日本人がトルコ政府によって救出された出来事を紹介してくれていました。

順番は、常に与えられるほうが先です。私たちは、先に親や、地域、学校、社会などから与えられ、成長し、やがて、それを返していくこととなります。与えてもらった人に返せる場合もあるでしょうし、そうではなく、直接的には関係の無い人へ返していく場合もあるでしょう。そうした関係を作れるということが、社会に生きる我々の成長ということであり、「私は他者から与えてもらっている」という自覚が、人間的に成長するためには必要なことなのではないかと思えます。

開校記念式典にあたり、母校の歴史を思い、伝統を受け継ぎ、多くの先輩方に支えられていることをしっかり自覚し、前西生としての決意を新たにしてください。一人一人の役割が今まで以上に大きくなっていく社会の中にあって、本校での日々の学びが新たな時代を生き抜いていく力、そして、世代間を結ぶ温かみのある心を育ててくれることを願っています。

マラソン大会 本日実施！

PTA本部役員や理事の方々にもご協力いただき、本日、無事に恒例のマラソン大会を実施することが出来ました。天気にも恵まれ、生徒諸君が力強く走る姿、あるいは応援や係の仕事に尽力してくれている姿を見ることが出来ました。本校では、「開校記念」という位置づけではありませんが、創立以来、開校記念日のある11月にマラソン大会を実施してきました。学校史からは、この行事が始まった経緯についてうかがい知ることは出来ませんが、何らかの関係があるのかもしれませんが。

マラソン大会を実施する目的としては、「持久力の向上など心身の健全な発達を促す」「活力ある生活を生み出す」「学校への帰属意識を高める」「自己目標へ向けての挑戦」「完走したことによる達成感」「人間関係の構築」「応援や協力をする意識の醸成」などがあると思います。若者の一生懸命な姿は、周囲を元気づけてくれます。開校記念にふさわしい行事のひとつといえるでしょう。お疲れ様でした。